

トンネル内の舗装を素早く補修し性能を確保

コンクリート舗装補修の工期を8割短縮 耐久性もUP



舗装表面

- トンネル内のコンクリート舗装の耐久性や明色性を保ちつつ、補修工期を短縮できる技術
- 耐久性、耐摩耗性に優れており、わだち掘れやひび割れが発生しにくい
- 従来の薄層コンクリート舗装による補修と比べて養生期間が短縮され、施工日数が約8割短縮

without 採用前



薄層コンクリート舗装による補修

生コンクリートを材料とするため、道路開放まで所定の養生期間を要する。

施工日数
約42日/10,000m²あたり

with 採用後



専用機械にて敷均し通常のアスファルト舗装と同様に転圧。転圧完了後はすぐに道路開放できる。

施工日数
約7日/10,000m²あたり

わだち掘れの経年変化

国道13号：山形～福島の間、N7交通 3,000(台/日)以上

